

# 大麦特報(第5号)

令和8年5月  
富山農林振興センター  
なのはな農業協同組合

本年の出穂期は、昨年比べて5～7日程度早くなりました。刈取時期の目安を参考に、成熟したほ場から計画的に収穫を進めましょう。

## 1. 刈取前の準備

### (1) カラスノエンドウ等の抜き取り

- ・収穫前にはほ場を巡回し、**カラスノエンドウ**(写真1)や**ハマダイコン**(写真2)があれば、**必ず抜き取りほ場外で処分**しましょう。

※カラスノエンドウの種子やハマダイコンの莢は粒厚が大きく(3mm程度)、収穫時に混入すると調製では取り除くことができません。

### (2) 被害粒の混入防止

- ・湿害等による生育不良の箇所では、品質低下や病害の発生が懸念されます。収穫前に確認し、**赤かび病等の被害粒の発生が認められる場合は収穫及び搬入は別扱い**としましょう。

### (3) 収穫前のコンバインの清掃

- ・異種穀粒の混入を防止するため、**収穫前にコンバインの清掃を徹底**しましょう。



写真1 カラスノエンドウ



写真2 ハマダイコン

## 2. 適期刈取の実施

### <刈取時期の目安>

刈取適期は、**概ね5月27日から**と見込まれます。なお、ほ場によりばらつきがみられるので、確認のうえ刈取り計画を立ててください。

- ・**穂軸と茎葉が完全に黄化し、子実水分30%以下となったほ場から順次収穫を開始**しましょう。
- ・早刈りは粒の充実が不十分で空洞粒の原因となります。また、刈遅れは収穫ロスが多くなるうえ、熟色不良となるため、**穂首がすべて折れる前に収穫を終え**ましょう。

穂軸、茎葉と子実が完全に黄化したのを確認しましょう

屈曲した穂の割合がほ場全体の半分程度になったら収穫開始(子実水分30%以下)



### 3/1～5/31 春の農作業安全運動実施中

農作業事故ゼロを目指して事故防止対策を徹底

あなたも農作業中に「ヒヤリ」とした経験はないですか？春の農繁期は農作業事故が発生しやすい季節です。農場や道、用水路など危険箇所を事前に確認し、余裕をもった作業計画を立て、事故を未然に防止する対策を徹底しましょう。

百塚カントリーでの荷受けは、**5月27日(水)**より行います。